

井筒屋だより

第五十四号
令和七年
四月号

新年度、新たな活動に

井筒屋をご利用ください

4月は新年度。職場の組織や学校のクラスも新しくなり、新たな活動が始まる季節です。そんな活動場所の一つとして、井筒屋をご利用ください。

井筒屋3階の大・小2つの会議室は、有料で貸し出しを行っています。

大きな会議室は、机



会議室はコンサートやワークショップ等にも利用可能

を使わない場合は定員60名、机を使う場合は、定員36名。集会や会議だけでなく、コンサートや少人数でのワークショップ、体操教室などに使うことも出来ます。

和室タイプの小さい会議室は定員16名。井筒屋が旅館だったころの名残を味わえます。ちょっとした会食にも利用可。

1階のカフェ営業時間内なら、会議室でテイクアウトメニューをご利用いただけます(料金は井筒屋までお問い合わせください)。

歴史ある西念寺で、浪曲を！ 三門博を偲ぶ

5月5日(祝・月)に開催

笠間に縁のある浪曲師・三門博(みかどひろし)を偲ぶ浪曲の会が5月5日、笠間市稲田の西念寺で開かれます。

三門博は、昭和期に戦中から戦後にかけて一世を風靡した芸人で、昭和5年に創作した浪曲「唄入り観音経」はのちにレコード化され、累計200万枚を販売する大ヒット作となりました。晩年は笠間市の稲田に住み、平成10年没。そのお墓は西念寺にあります。



三門博



三門綾



三門綾

今回の浪曲会は、孫弟子にあたる三門綾(みかどりょう)が企画。博の誕生日にあたる5月5日に、お墓のある西念寺で、笠間の皆さんに浪曲を聞いてほしいとの思いで昨年第1回目を開催。2回目となる今回は、さらに地域に定着することを目指しています。

出演は三門綾とその師匠で博の直弟子にあたる浪曲界の大御所・三門柳(みかどやなぎ)。井筒屋でおなじみの万葉亭小太郎も落語で出演します。開演は午後1時(開場12時30分)。入場料は2000円。問い合わせは、090-5969-8769(三門綾)まで。

5月のイベント

Vocal & Piano シャンソンと民話

日 時：5月10日(土)

午後2時(開場1時30分)

出 演：齋藤清子(ヴォーカル)

小林萌里(ピアノ)

シャンソンの名曲と、地元になんだ民話をお送りします。

入場料：2500円(予約) 3000円(当日)

万葉亭小太郎の
井筒屋朝の会

日 時：5月11日(日)

午前10時30分

(開場10時)

出 演：万葉亭小太郎(落語)
朝から落語をたっぷり
申し上げます。

木戸銭：500円

民話がたり

～ひとつきいてくださ～

日 時：5月18日(日)

午前11時～11時30分

出 演：笠間の民話を語る会
演目は、「朝日堂夕日堂」「扉に手をはさまれた水戸黄門」「村人を救ったユズの大木」

入場料：無料

かさま歴史交流館井筒屋 笠間市笠間 987 電話 0296-71-8118

開館時間 午前9時～午後9時

～このお便りでは、井筒屋の日々の様子やイベントの開催予定等をお知らせしています～



歴史こらむ

大関駒ヶ嶽のこと

前号で紹介した常陸のもその頃の特別二ユ山は、第19代横綱で明治7年水戸市の生まれ。優勝相当成績7回、幕内最高優勝1回の名力士である(当時は年2場所10日制で、現在のような優勝制度ではなかった)。明治から大正にかけて、第20代横綱の梅ヶ谷と「梅常陸時代」を築いている。

前号の笠間での巡業は1914(大正3)年4月のものと思われる。というのも、大関の駒ヶ嶽の記述があるからだ。

* *

大関の駒ヶ嶽が笠間から柿岡に向かう途中、板敷山の先のあたりで、荷馬車の上で急死した



出身地である宮城県涌谷町にある駒ヶ嶽の碑

のその頃の特別二ユースである。車上で冷酒でも仰り過ぎたのではあるまいか。生きておれば、間違いなく横綱までなれた男といわれたのに、惜しいことをしたものである。(昭和44年笠間市報11月号、村田青子さんの「昔々ものがたり」より)

* *

駒ヶ嶽は、常陸山が熱心に稽古をつけた将来を嘱望されていた力士だ。大食漢・大酒飲みで一度に6升も飲んだという。そのため、体を壊しがちだった。巡業の際に、酒屋でどぶろく3升を飲み、太陽が当たる荷車の上で寝ていたため、飲んだ酒が発酵し、腸穿孔・脳溢血を発症し33歳で急死した。これもまた、笠間に關する歴史の一つになるのだろう。

(雄)

『怒濤逆巻くも』

上下巻販売開始

井筒屋では、小野友五郎の半生を描いた長編小説『怒濤逆巻くも(上)(下)』の販売を開始しました。友五郎の功績が臨場感あふれる文章でつづられています。上巻は770円、下巻は880円です。



作者の鳴海風さん

「かさまし」のロゴ入り
新デザインの御城印販売



この春より、笠間城の新たな御城印の販売を開始しました。日本遺産「かさまし」のロゴが入ったもの2種類で、1つは、笠間城の代表的な城主3家の家紋とつつじときつねのデザイン(中世の頃、今のつつじ山が登城ルートだったようです)、もう1つは笠間城がある佐白山の遠景と天守石垣と佐白山を守っていた3匹の白い動物のデザインになっています。価格は300円です。

【後記】

井筒屋で販売している甘納豆をたいへん好んでくださる水戸の模型屋さんがいいます。

甘納豆といえば、幼少の頃、近所の駄菓子屋の10円クジを思い出します。当たりは大袋の甘納豆で、外れは小さな袋。なかなか当たりを引けないことを嘆くと、親に「10円で小さな甘納豆を買えたのだから、それでいいと思いなさい」とたしなめられました。確かに小袋でも10円のコストにあった美味しさはありました。

井筒屋の甘納豆のコストパフォーマンスは最高です。その模型屋さん、同好の志と、時間をかけて完成させた模型を持ち寄り、甘納豆を食べながら模型談義にふけるようです。そんな至高の時間を過ごしてくれます。嬉しく思います。

(寛)